

＊神戸市水道局 水道技術職採用 (土木 電気 機械)

Kobe City Waterworks Bureau Recruitment
of Waterworks Engineers

時代を超える
技術と生きる
スペシャリストになる。



> 選考フロー / FLOW

採用選考は神戸市職員採用試験に準じて行われます。詳しい情報は神戸市職員採用ページをご確認ください。

	大学卒、高専・短大卒	高校卒
受験申込開始	4月頃	7月頃
第一次試験(筆記試験)	6月頃	9月頃
第二次試験(面接など)	7月頃	10月頃
第三次試験(面接など)	大学卒 8月頃 高専・短大卒 —	—
最終合格発表	大学卒 8月下旬 高専・短大卒 8月上旬	10月下旬

> 募集要項・待遇 / APPLICATION REQUIREMENTS

採用区分	大学卒、高専・短大卒、高校卒										
試験区分(選択科目)	水道技術職(土木/電気/機械)										
給与	<table border="0"> <tr> <td>学歴</td> <td>初任給(地域手当含む)</td> </tr> <tr> <td>大学院卒</td> <td>約223,900円</td> </tr> <tr> <td>大学卒</td> <td>約206,800円</td> </tr> <tr> <td>高専・短大卒</td> <td>約183,000円</td> </tr> <tr> <td>高校卒</td> <td>約170,800円</td> </tr> </table>	学歴	初任給(地域手当含む)	大学院卒	約223,900円	大学卒	約206,800円	高専・短大卒	約183,000円	高校卒	約170,800円
学歴	初任給(地域手当含む)										
大学院卒	約223,900円										
大学卒	約206,800円										
高専・短大卒	約183,000円										
高校卒	約170,800円										
手当	家族や住まい、勤務の状態などに応じて、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当(4.30月分/令和3年度実績)等が支給されます。										
勤務時間	平日8:45~17:30(休憩12:00~13:00) ※勤務場所によって深夜業務を含む交代制勤務あり										
休日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日から1月3日)										
休暇	年次有給休暇は20日、その他、夏季休暇(5日)、結婚休暇、産前産後休暇、育児参加休暇、介護休暇、忌服休暇 等										

神戸市水道局 水道技術職採用特設サイト

- なぜ、神戸市水道局が水道技術職採用をしているのか
- 神戸市水道局ではどんな職員が、どのように働いているのか
- 水道技術職の魅力とは何なのか

特設サイトで、よりリアルに感じてください。

インタビュー動画
公開中



神戸市水道技術職とは

WHAT IS KOBE CITY WATERWORKS ENGINEER?



POINT 01

神戸水道のスペシャリスト

神戸市水道局が120年で培った水道技術を継承しつつ、未来に向け新しい技術に挑む、神戸水道に精通したスペシャリストです。

POINT 02

設計～施工～管理まで総合的に担う

計画・設計から業務に携わり、造って終わりではなく、その後の管理まで担う、水道に総合的に関わる仕事です。



POINT 03

めずらしい専門職だけど公務員

水道一筋のスペシャリストですが、神戸市職員の一員です。神戸の未来のために求められ続ける、一生モノの仕事です。



神戸市水道局の職員と仕事

日々、安心・安全な水を安定的にお届けしている神戸市水道局。携わるスペシャリストたちとその仕事内容をご紹介します。

水道施設の計画

政策調整課 穴瀬 博子(2021年入庁)

水道局の基幹的な施設の整備計画立案やその調整を行っています。市民の皆様へ、安心・安全な水を安定的にお届けできるよう、これからあるべき姿をデザインする仕事です。机の上で計画を考えることに加え、現地調査にも出向きます。水道施設全体を広い視野で見ることができ、知れば知るほどおもしろい仕事です。



安定は、計画から生まれる。

配水管工事の設計

配水課 岡本 凌芽(2021年入庁)

普段目にしないものですが、地中には水道管が埋まっています。私の職場では古くなった水道管を地震に強い水道管に取り替える工事の設計や積算を行っています。「地震や災害が起きても安心安全な水を絶やさない」という思いで、日々業務に取り組んでいます。自分で一から作成した工事の図面が完成した時は大きな達成感がありました。



地中に広がる迷路をデザインする。

水道施設工事の設計

施設課 起塚 絵理(2012年入庁)

水道施設の維持・長寿命化や災害対策として、配水池等の防水塗装や場内整備、土砂災害対策などの設計・積算を行っています。市民の方が直接目にする施設整備ではないため、一見地味な仕事に見えますが、生活する上で必要不可欠な水を絶やさず送るためには重要な仕事であり、その一員として携わることを誇りに思っています。



裏方仕事こそ、技術と誇りを光らせて。

配水管路の工事監督

北センター 山村 優(2020年入庁)

主に、老朽化した水道管を耐震仕様のものへ更新する工事の監督を担当しています。現在布設している水道管は100年供用できるとも言われており、1つの判断が長い将来に影響する責任のある仕事です。現場で即座に判断を迫られるような困難な場面もありますが、それを乗り越えたときには大きな達成感とやりがいを感じることができます。



地震に負けない未来をつくる。

配水管路の維持管理

垂水センター 長江 充晋(1997年入庁)

24時間365日安心して水道水を使ってもらえるよう、工事の際の断水や水道管内の洗浄、漏水調査や修理などを行っています。市民の方と接することも多く、感謝の言葉をいただいた時はやりがいを感じます。また、他の市町村で事故や災害が起きた際には、給水車の派遣や復旧工事への協力を行うこともあり、使命感を持って仕事に取り組んでいます。



市民生活と水道技術をつなぐ。

機械設備の設計

施設課 車 洋介(2015年入庁)

私は水道施設の機械設備に関する業務を担当しています。送水ポンプ設備工事を例にとると、工事を発注するための調査、設計、積算、現場工事の監督業務等が挙げられます。神戸市は高低差の大きい地形であることから機械設備の数も多く、水道水を市民の皆様へ届ける上でとても重要なやりがいのある仕事です。



水を送る原動力を生みだす。

電気設備の維持管理 浄水管理センター上ヶ原浄水事務所 壺井 大輔(2020年入庁)

神戸市内の鉄鋼や食品工場などを支える工業用水を作る導水・浄水設備を維持管理しています。送水は24時間365日、止められない緊張感がある中で、学校と民間企業で培った電気技術と、入庁してから学んだ水道技術をフルに生かして貢献できる大きな喜びがあります。取水する大阪の神崎川から神戸市まで10市をまたぐ水の流れは圧巻です。



水道×電気ので、工業を支える。

送水オペレーション

浄水管理センター 岡田 和行(1995年入庁)

蛇口をひねるといつも出てくる水。無色透明ですが貯水池からお客様に届くまで、様々な職種の職員が色濃く携わっています。私の仕事は、日々必要となる水の量を予測・準備し、使用量に応じて市内への送水量をコントロールすることです。天候によって水の使用量が大きく変わるのでいつも天気になります。



いつもの水は、技術と観察の積み重ねから。

> キャリア形成 / CAREER PLAN

水道技術職として採用された場合のキャリアアップのイメージをご紹介します。新しい職種なので前例や慣習はありません。可能性は無限大です。

初期キャリア

～30代前半

ジョブローテーションを通じて、基礎的業務を習得するとともに、業務適性を把握するように努める



中期キャリア

～30代後半

中堅職員として神戸水道を支える主戦力になるとともに、様々な知識・経験の習得に努める



後期キャリア

40代～

スペシャリストとして、自らの能力を發揮するとともに、知識・経験を活かし後輩の育成に注力する



昇任：係員から係長へは、日ごろの勤務状況をふまえた実力本位・人物本位の評価により昇任していきます。昇任の時期は、最短で、大学卒で採用後9年目(大学院卒は7年目)、高専・短大卒で12年目、高校卒で15年目です。